

平成26年度 第2回高梁市地域公共交通会議議事録（要旨）

日時：平成26年8月25日（月）13：30～

場所：高梁市役所 別館3階 第一会議室

会議資料

高梁市地域公共交通会議関係

- ・委員名簿

高梁市地域公共交通総合連携計画関係

- ・川上ふれあいタクシー利用状況について
- ・川面・巨瀬・中井地域公共交通再編計画（案）について
- ・高梁市地域公共交通総合計画について



1. 開 会

- ・会長あいさつ
- ・会議成立報告（14/15出席）

2. 報 告

(1) 川上ふれあいタクシー利用状況について（事務局説明）

質疑：なし

3. 議 事

(1) 川面・巨瀬・中井地域公共交通再編計画（案）について（事務局説明）

質疑

新屋委員：料金設定について、既存のバス会社との整合をとったとのことですが、かなり割高になる地区があります。この点についてどのようにお考えですか。備北バスから生活福祉バスになるので、料金をもっと安くしてもいいのではないかと思います。

各運行ルートには、狭隘区間があり、回転場、離合、積雪時を考慮して、対応した上で実証運行をしていただきたいと思います。

一部の路線は、真庭市を通り、バス停も設置予定ですが、真庭市との連携はとれていますか。なお、真庭くんは現在ある薬師堂バス停まで来ていません。確認は、取れているのでしょうか。

事務局：生活福祉バスは、他地域でも地域内300円としています。今回は、市街地まで運行するため、市街地までの乗車は、既存バスの運賃を参考にして100円単位で設定しています。利用者にとって、運賃は安ければ安いほどよいと思いますが、4路線バ

スが運行しているため、このように設定しています。

計画している 14 人乗りの車両ではありませんが、同様のワゴン車両で実際に走行して確認しています。実際の運行車両が来た段階でも試走を行います。

真庭市役所担当部局と協議を行い、真庭市地域公共交通会議で議論していただくことになっています。確かに真庭市のコミュニティバスは、薬師堂バス停の少し手前までとなっていますが、その点も踏まえてバス停設置を考えるとともに、ダイヤ変更等の際の連携も図っていきたいと考えています。

富士田委員：真庭市のコミバスの料金はいくらですか。

事務局：真庭市は 200 円均一料金となっています。

富士田委員：川面から市街地への料金は高いと思います。全体の料金を 200 円に下げた場合、市として大きな負担増になるのですか。料金設定が高額となるとバス離れにつながります。他市のことも参考にして検討していただきたいと思います。

事務局：料金設定については、高梁市内の他地域との整合も考える必要があります。また、バス・タクシー券との調整も必要です。貴重なご意見として、次期計画で市全域の運賃設定を検討していきたいと思います。

政森委員：本地域から高梁市市街地までは、直通ということですか。

事務局：そのとおりです。市街地に入ってから、病院の最寄のバス停での乗降を想定しています。

難波会長：他に質問やご意見はありませんか。ないようですので、本計画についてご承認いただけますか。ご承認いただける方は、拍手をお願いします。

→拍手多数により承認

(2) 高梁市地域公共交通総合計画策定について（事務局説明）

質疑

三宅委員：アンケート調査やヒアリング調査では、とかく公共交通を利用していない人の意見が多く、利用者の意見が少ない。その点に留意して調査していただきたい。

事務局：そのように配慮します。

平賀専門官：今後、交通のネットワークを作っていくことになり、JR の駅との結節も必要です。JR からの意見も必要となります。

事務局：そのように進めます。

東 委員：巨瀬・中井での住民説明会で何か特別な意見はありましたか。

事務局：バス停まで遠く、移動が大変であること。バスのステップが障害となっていることなどの意見が各地区で出ました。また、中井地区では、生活圏が真庭市となっていることなどが挙げられます。

難波会長：他に質問やご意見はありませんか。ないようですので、本策定計画についてご承認いただけますか。ご承認いただける方は、拍手をお願いします。

→拍手多数により承認

(3)その他

新屋委員：薬師堂バス停は、真庭コミバスの停留所となっているところ（もみぢの里）に変更したほうが良いと思います。また、バスももみぢの里の駐車場に入れるようにしたほうが良いと思います。店の了解を得て、運行申請もそのようにしたほうが良いと思います。

事務局：今後、関係者と協議をして進めていきます。

政森委員：前回の会議で、陣山線の一便だけを阿部地区（イズミ）方面へ運行する件について、事務手続きの不手際で10月の実施は困難となりました。来年3月を目途に1便を阿部に回すようにしたいと思います。

平賀専門官：実証運行の期間は、どのように考えていますか。

事務局：10月から来年9月までの1年を考えています。その後、本格運行に移行したいと考えています。

事務局：備中中学から要望により、生活福祉バスダイヤについて、これまで10月9日からの冬ダイヤを10月1日から冬時間で運行するように備北バスと協議して実施する予定です。

4. 閉 会

平松副会長あいさつ